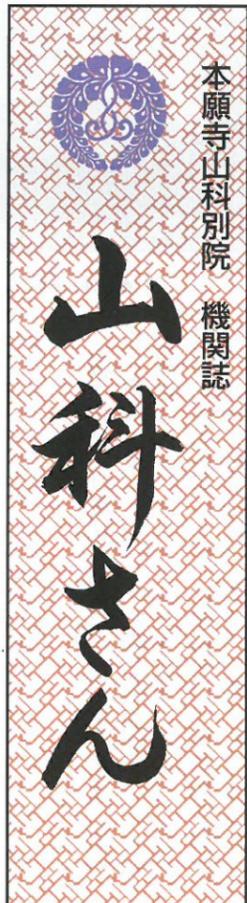




▲法要高札 立札式 (平成27年4月2日)



蓮如上人ご誕生六百年  
記念法要  
法要特集号

第三十六号  
平成二十七年六月発行  
発行責任者 輪番 渡邊 信  
発行所 本願寺山科別院内  
法要実施委員会  
京都市山科区東野狐敷町二番地  
〒607-8155 TEL075-581-0924

蓮如上人のご誕生をお祝いし、感謝の誠を捧げよう

いただいた いのち  
今 私にできること

法要期日 平成二十七年十一月六日(金) 午後二時  
専如ご門主 御親修 (御導師)  
七日(土) 午後二時  
即如前門様 御親修 (御導師)

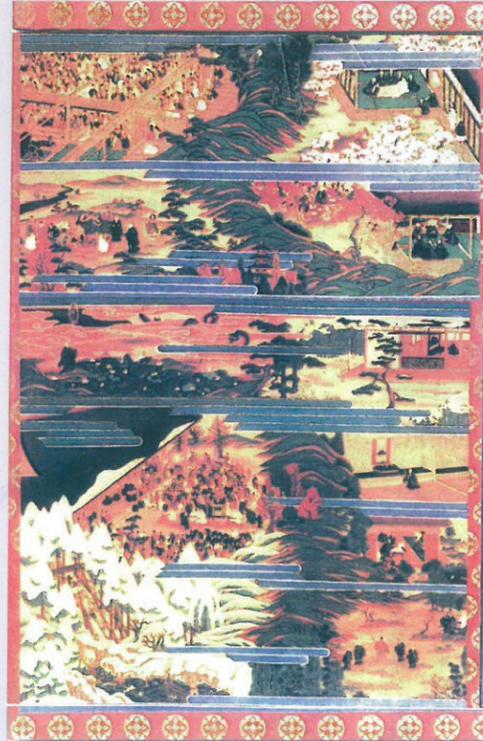
このたび「中興の祖」と仰がれている本願寺第八代宗主蓮如上人とご縁の深い山科別院では、一四一五年(応永二十二年)蓮如上人がお生まれになつて今年が六百年にあたることから来る十一月六日、七日の二日間「蓮如上人ご誕生六百年記念法要」をおつとめすることになった。

この法要の実質的な開始を告知するとともに、法要機運の高揚をはかるため、去る四月二日ご法要高札の立札式が、別院山門前で挙行された(上記写真)。

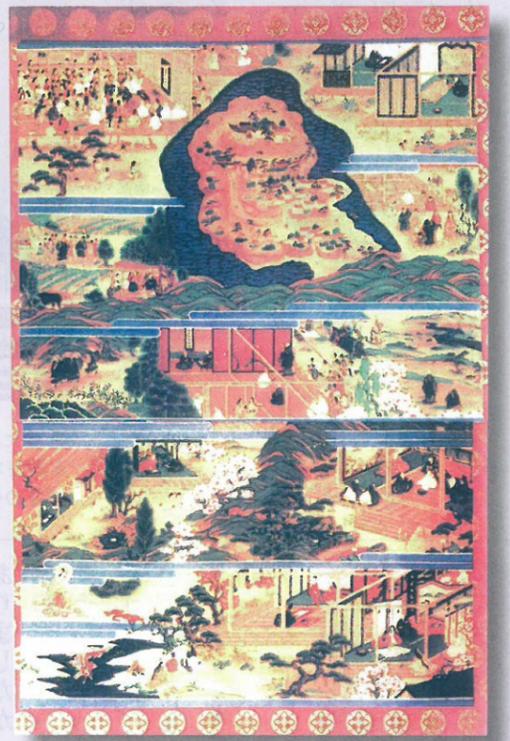
ここに別院の「新たな始まり」としての第一歩が始まった。

伝統を受けつぎ、新しい歩みへの創造性を加えたご法要をめざして…。

### 蓮如上人御絵伝 (双幅)



第二幅



第一幅

(見本)

#### 法要準備体制の進捗状況について

平成二十五年末から翌年にかけて、別院の役員会が数回催され、経常の業務とは別に山科別院の将来的構想についても協議が進められました。

平成二十六年には、別院の「新たな始まり」の第一歩として、別院の活性化対策を掲げ、「法統継承」を機縁とした将来構想の眼目が定められたのであります。すなわち平成二十七年(二〇一五年)は、山科別院にとってご縁の深い蓮如上人ご誕生六百年に相当することから、平成二十七年に「蓮如上人ご誕生六百年記念法要」を修行し、「八お念仏のひろがる社会」への基軸としたいとの方向性が示されました。

これをうけて「法要構想案」が策定され、「法要推進委員会」を組織し、両門様のご出向についてお願いし、去る三月に両門様のご出向をいただくことが決定しました。

それにより直ちに「法要実施委員会」に法要準備体制を移行し、「法要基本計画」を樹立。法要予算の根幹を成す懇志進納の依頼文書を崇敬区域内関係者に送付し、協力を要請いたしました。

現在お蔭をもって、懇志が順次進納されるとともに「法要基本計画」の具体策を協議し、法要の実働に向けて業務を推進しているところであります。

特に、このたびの法要の記念事業として、別院の新たな法物とするべく、「蓮如上人御絵伝」(双幅)の山科別院のオリジナル・バージョンを調製する方向で準備を進めています。(上記写真見本)

これが調製にかかる冥加金の経費については、各講社講員の方々に協力を呼びかけているところであります。

#### 諸懇志進納のお願いについて

■法要予算総額 一九、六〇〇、〇〇〇円  
(懇志依頼額)

- ・ 崇敬区域内寺院 一カ寺 二万円
- ・ 崇敬区域講社 一講社 五万円
- ・ 別院門徒 一戸 五千元
- ・ 特別懇志 五万円以上
- ・ 役員懇志 三万円以上

●ご協力よろしくお願いいたします。

#### 編集後記

新緑若葉に映える好時節の中に、「法要記念特集号」の第一号をここにお届けいたします。このたびのご法要に際して両門様のご出向をいただけることは、身の引き締まる思いであります。

ご法要に向けて、今日まで種々の法要機運の高揚策を重ねてまいりましたが、その中でも「法要記念特集号」を三回発行する予定であります。今回はその第一号として「法要お待ち受け」の内容として発行いたしました。

ご法要まで残り五カ月となり、ご法要の諸準備を進める中で、限られた日数、人員、予算面など厳しい状況下にはありますが、別院職員と委員会委員が心をひとつにしてご法要に向けて邁進してまいりたいと存じます。

ご関係の方々におかれましては、一人ひとりが蓮如上人ご誕生をお祝いするとともに、ご誕生の意義をより深くめられ、ともどもにご法要のご勝縁をお待ち申し上げましょう。

ご法要が盛大裡におつとまりになり、無事に円成されますよう、皆さまのご理解と募財への温かいご協力を切にお願いいたします。

